

2019年9月期 (第29期) 決算説明会

2019年11月25日
EPSホールディングス株式会社
代表取締役
グループCEO 巖 浩

- 1 | 2019年9月期 決算概要**
- 2 | 2020年9月期 通期計画**
- 3 | 中期経営計画の修正**
- 4 | 株主還元**

1 | 2019年9月期 決算概要

2019年9月末

国内事業

CRO

イーピーエス、ACM(CRO) EPSアソシエイト

SMO

EP総合

CSO

EPファーマライン、ACM(CSO) ESリンク

NRO

EPクルーズ、EPテクノ
EP山梨
中国データサービス会社3社

海外事業

**Global
Research**

EPSインターナショナル
中国CRO事業会社
他海外事業会社

益新

EPS益新、益新中国
上海華新
益通(蘇州)
他中国事業会社

その他

イーピービズ (シェアードサービス)

(注1) ACメディカルはM&Aにより2019年3月よりCRO、CSOに含む

(注2) 旧イトライアルは当期からCROからNROにセグメント変更
2019年4月旧往来技術を吸収しEPテクノに社名変更

2019年9月期 連結業績



(単位：百万円)

	2018/9期 実績	2019/9期 期初計画	2019/9期 修正計画 (8月1日発表)	2019/9期 実績	期初計画比 増減率	修正計画比 増減率	前年同期比 増減率
売上高	65,769	72,000	68,100	69,009	△4.2%	1.3%	4.9%
営業利益 (利益率)	7,193 (10.9%)	7,200 (10.0%)	5,700 (8.4%)	6,279 (9.1%)	△12.8%	10.2%	△12.7%
経常利益 (利益率)	7,436 (11.3%)	7,350 (10.2%)	5,800 (8.5%)	6,271 (9.1%)	△14.7%	8.1%	△15.7%
親会社株主に 帰属する 当期純利益 (利益率)	4,388 (6.7%)	4,700 (6.5%)	3,000 (4.4%)	3,633 (5.3%)	△22.7%	21.1%	△17.2%

2019年9月期 セグメント別業績

(単位：百万円)

			2019/9 期初計画	2019/9 実績	期初計画比 増減率	修正計画比 増減率	前年同期比 増減率
国内事業	CRO	売上高	31,650	28,908	△8.7%	1.2%	0.3%
		営業利益(率)	6,300 (19.9%)	5,031 (17.4%)	△20.1%	2.3%	△20.6%
	SMO	売上高	14,300	14,339	0.3%	0.3%	0.3%
		営業利益(率)	1,450 (10.1%)	1,679 (11.7%)	15.8%	8.3%	32.3%
	CSO	売上高	8,500	9,399	10.6%	0.7%	20.3%
		営業利益(率)	406 (4.8%)	489 (5.2%)	20.4%	1.9%	27.3%
	NRO	売上高	6,000	5,829	△2.9%	△1.2%	117.9%
		営業利益(率)	355 (5.9%)	428 (7.3%)	20.6%	7.0%	41.3%
海外事業	GR	売上高	4,500	3,990	△11.3%	8.7%	△19.3%
		営業利益(率)	10 (0.2%)	△3 (－)	－	－	－
	益新	売上高	11,280	11,543	2.3%	△3.8%	4.1%
		営業利益(率)	130 (1.2%)	381 (3.3%)	193.1%	△4.8%	214.9%

(注1) 決算短信上のCROセグメントは、NROセグメントを含む

(注2) 各セグメントの営業利益は

①HDへの経営指導料を含まない

②のれん償却費・シェアードサービスへの委託費を含む

連結業績概要

売上高

- 対期初計画でCSOが好調だがCROとGRが大幅な未達により4.2%減収
- 対前期でGRが大型案件の失注等の影響で減収
- 他セグメントの堅調とM&Aの効果もあり増収

営業利益

- 対期初計画でCRO大幅未達の影響で12.8%減益
- 他セグメントはほぼ計画を上回り増益
- 対前期で、CROの減少分を好調な他セグメントでは補いきれず減益

CRO 売上・営業利益で期初計画未達

- ・ モニタリングで計画した大型案件の失注、引合案件のキャンセル、稼働中試験の中止及び開始時期遅延
- ・ 新規案件の受託低調と受託案件不足
- ・ 営業やマネジメントの対応が遅れ、稼働率低下

SMO 売上計画達成、営業利益で期初計画超過

- ・ 提案型営業が好調で過去最高の200億円の新規受注
- ・ プロジェクト管理体制の強化により受託案件に対する症例登録数増
- ・ 社内体制整備と地域ごとのリソース最適化等により生産性向上

CSO 売上・営業利益で期初計画超過

- ・ オペレーション体制の連携を再構築し供給力の強化
- ・ コールセンター、BPOは既存の業務範囲を拡大し業績伸展
- ・ 販売情報提供活動ガイドラインの適用拡大等により学術資材作成支援が順調

NRO

売上若干未達・営業利益期初計画超過

- ・ 臨床研究は案件小型化、受託済案件の進捗遅れ
- ・ 医師主導治験は順調な受注により稼働率維持
- ・ 医薬系ITはe-Catch等のEDC(臨床試験情報収集システム)外販堅調

GR

売上・営業利益で期初計画未達

- ・ グローバルCROとの競争激化もあり大型案件の失注、開発遅延
- ・ 中国におけるCRO事業の再建開始
- ・ 他海外拠点の整備により赤字幅圧縮

益新

売上・営業利益で期初計画超過

- ・ 医薬品事業の販売好調
- ・ 医療機器販売は市場開拓が進み伸長
- ・ 製品ポートフォリオを整備し好採算製品に経営資源を集中

- ・**CRO・CSO ACメディカルの買収** (2019年2月28日完了)
顧客基盤の拡大、リソースの拡充、技術ノウハウの共有を目的
人的資源とITを融合した付加価値の高いサービスを提供しているACメディカル買収
- ・**NRO 往来技術の買収** (2018年11月1日完了)
臨床研究専門サービスと医療系ITサービスを融合し、次世代の医薬品開発を支える
プラットフォームを構築
- ・**GR George Clinical社(豪州)との戦略的提携** (2019年4月)
アジア・パシフィックにおける供給力強化と受託拡大を目指し、George Clinical社
と戦略的提携
- ・**益新 鈴謙(深圳)のグループ化**
中国における学術販促・流通管理の機能強化により、日系製薬会社等の製品をより
効率的・効果的に中国に普及展開するためのバリューチェーンを構築
- ・**健康食品向けCRO(TTC)への資本参加**
健康食品等の未開拓臨床試験市場等への参入
食品関連企業への営業活動を通じた新規顧客（市場）の開拓と関係強化

2 | 2020年9月期 通期計画

国内事業

CRO

イーピーエス、ACM(CRO:統合予定)

SMO

EP総合

CSO

EPファーマライン、ACM(CSO:統合予定) ESリンク

NRO

EPクルーズ、EPテクノ EP山梨
中国データサービス会社3社

海外事業

**Global
Research**

EPSインターナショナル
(旧EPSアソシエイトを吸収) 中国CRO事業会社
他海外事業会社

益新

EPS益新、益新中国 上海華新
益通(蘇州) 他中国事業会社
鈴謙(深圳)

その他

イーピービズ (シェアードサービス)

(注1) EPSアソシエイトは2019年10月EPSインターナショナルと合併

(注2) 鈴謙(深圳) を今期から追加

(単位：百万円)

	2019/9 実績	2020/9 計画	前期比 増減額	増減率
売上高	69,009	72,500	3,491	5.1%
営業利益 (利益率)	6,279 (9.1%)	6,170 (8.5%)	△109	△1.7%
経常利益 (利益率)	6,271 (9.1%)	6,320 (8.7%)	49	0.8%
親会社株主に帰属 する当期純利益 (利益率)	3,633 (5.3%)	3,540 (4.9%)	△93	△2.6%

2020年9月期 セグメント別計画

(単位：百万円)

			2019/9 実績	2020/9 計画	前期比	前年同期比 増減率
国内事業	CRO	売上高	28,908	28,600	△308	△1.1%
		営業利益（率）	5,031 (17.4%)	5,168 (18.1%)	137	2.7%
	SMO	売上高	14,339	15,000	661	4.6%
		営業利益（率）	1,679 (11.7%)	1,757 (11.7%)	78	4.6%
	CSO	売上高	9,399	10,800	1,401	14.9%
		営業利益（率）	489 (5.2%)	641 (5.9%)	152	31.1%
	NRO	売上高	5,829	6,500	671	11.5%
		営業利益（率）	428 (7.3%)	450 (6.9%)	22	5.1%
海外事業	GR	売上高	3,990	5,100	1,110	27.8%
		営業利益（率）	△3 (－)	50 (1.0%)	53	－
	益新	売上高	11,543	12,000	457	4.0%
		営業利益（率）	381 (3.3%)	150 (1.3%)	△231	△60.6%

(注1) 決算短信上のCROセグメントは、NROセグメントを含む

(注2) 各セグメントの営業利益には

①HDへの経営指導料を含まない

②のれん償却費・シェアードサービスへの委託費を含む

(注3) 前期CROにあったEPSアソシエイトをGRに移管

1. 計画概要

売上高 : 営業力の強化により全セグメントにおいて内部成長を計画
CROの減収は、構成会社(EPSアソシエイト)変更の影響によるもの
営業利益 : 事業環境の変化に対応するため、コスト構造改革を推進
管理体制の強化と必要な先行投資を実施
連結ベースで前期並みを計画

2. 各セグメント概要

CRO 営業力を強化するとともに原価管理と業務効率化を推進

SMO 地域戦略と施設戦略の遂行によるリソース有効活用

CSO 独自サービスを融合し、他社と差別化

NRO 専門サービスと医薬ITサービスを融合

GR 日本、アジア、中国に確固たる基盤作りを推進

益新 製品関連事業の事業基盤の拡充

3 | 中期経営計画の修正

中期経営計画の修正(連結)

(単位：百万円)

	中計1年目	中計2年目	中計3年目	中計4年目	中計5年目	
	2017/9	2018/9	2019/9	2020/9	2021/9	
	実績	実績	実績	今期計画	当初計画	修正計画
売上高	60,482	65,769	69,009	72,500	100,000	80,000
営業利益	7,591	7,193	6,279	6,170	12,500	8,000
営業利益率	12.6%	10.9%	9.1%	8.5%	12.5%	10.0%

中期経営計画の修正(セグメント別)

(単位：百万円)

	中計 3 年目		中計 4 年目		中計5年目	
	2019/9		2020/9		2021/9	
	実績	増減率	計画	増減率	計画	増減率
C R O	28,908	0.3%	28,600	△1.1%	30,000	4.9%
S M O	14,339	0.3%	15,000	4.6%	16,000	6.7%
C S O	9,399	20.3%	10,800	14.9%	12,500	15.7%
N R O	5,829	117.9%	6,500	11.5%	8,000	23.1%
G R	3,990	△19.3%	5,100	27.8%	6,500	27.5%
益新	11,543	4.1%	12,000	4.0%	14,000	16.7%

基盤事業の拡大・強化

- ・現場と経営層/セグメントとホールディングスが一体となった積極的営業活動
- ・現場発の既存サービスの改善と新商品の開発
- ・グループの強みを活かしたプロジェクトマネジメントの推進
- ・現場との連動による予実管理強化
- ・セグメント経営層の若返りと活力向上

新サービス・新事業の探索

- ・開発計画の策定などハイエンドサービスの商品化
- ・新規ビジネスモデルの開発
- ・アカデミア領域における協働ネットワークの構築、治験・臨床研究のデジタル化
- ・人材活用による周辺ビジネスの開発・創出
- ・事業シナジーを見据えたM&A、資本参加

海外事業の基盤化推進

GR

- ・日系顧客の海外臨床試験の支援体制強化
- ・海外顧客、特にベンチャー(含む中国)の日本進出へのサポート支援
- ・オペレーション、マネジメント体制の基盤化

益新

- ・現有プロダクツ事業(医薬品、医療機器)の安定的運営
- ・日中ヘルスケア産業を繋ぐ「専門商社」進化
- ・日中合同マネジメント体制の構築

グループ経営体制の確立

- ・ホールディングスにおける「OneEPS」としての事業マネジメント強化
- ・人事制度改革などを通じたコスト構造改革、管理マネジメントの機能向上
- ・次世代を担う経営人材の育成強化

EPS ホールディングス

CRO

SMO

CSO

NRO

**Global
Research**

益新

(セグメント長) **安藤**
(副セグメント長) **佐々**

長岡
山本

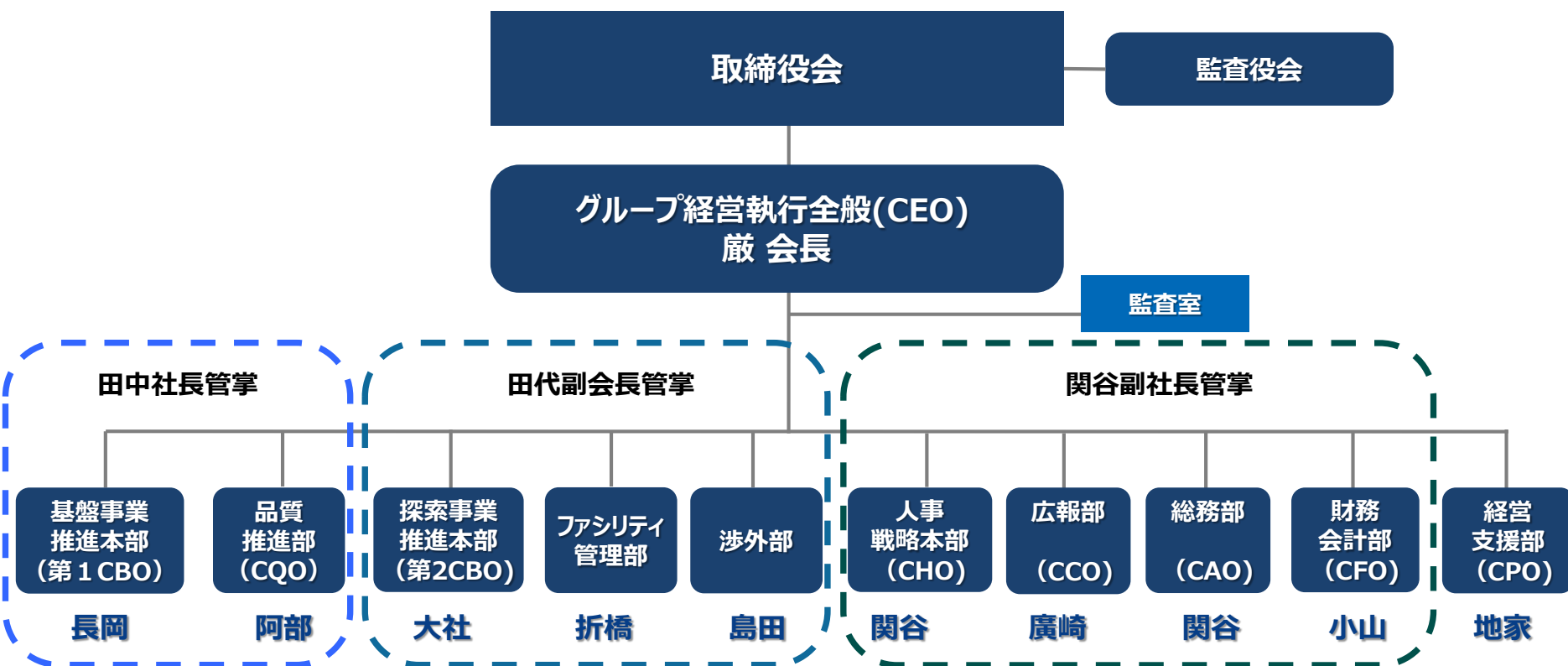
西塚
後藤

山田
宋

田中
早川

巖
田代

- ・セグメントにおいて次世代若手人財を経営職に登用し若返り化
- ・適正なサイズの事業体に分割し日々のオペレーションに専念し事業体をコントロール



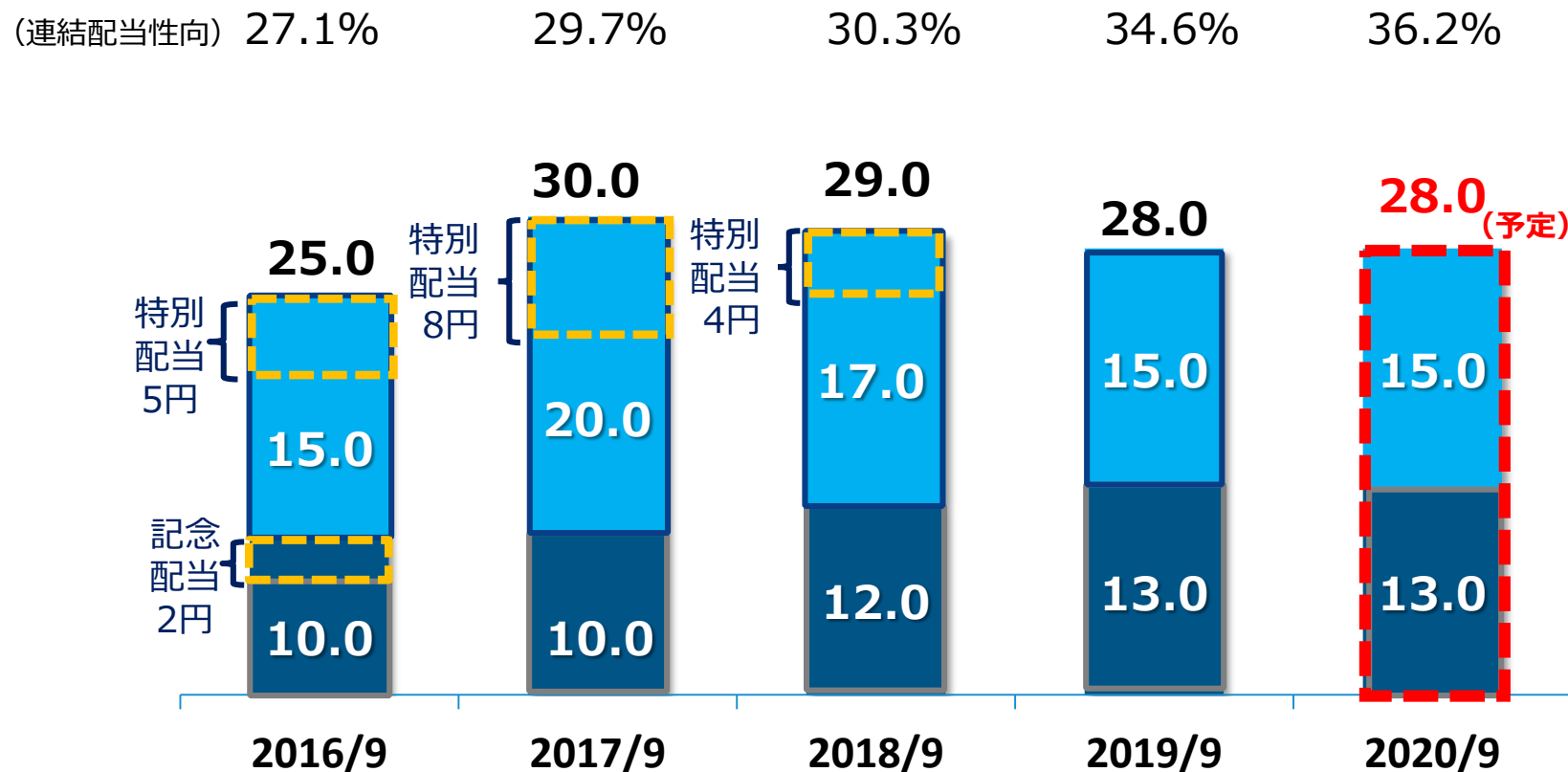
- ・HDはOneEPSの司令塔として、グループ全体の企画・調整・推進機能を強化
- ・セグメントから次世代人材を積極的に兼任

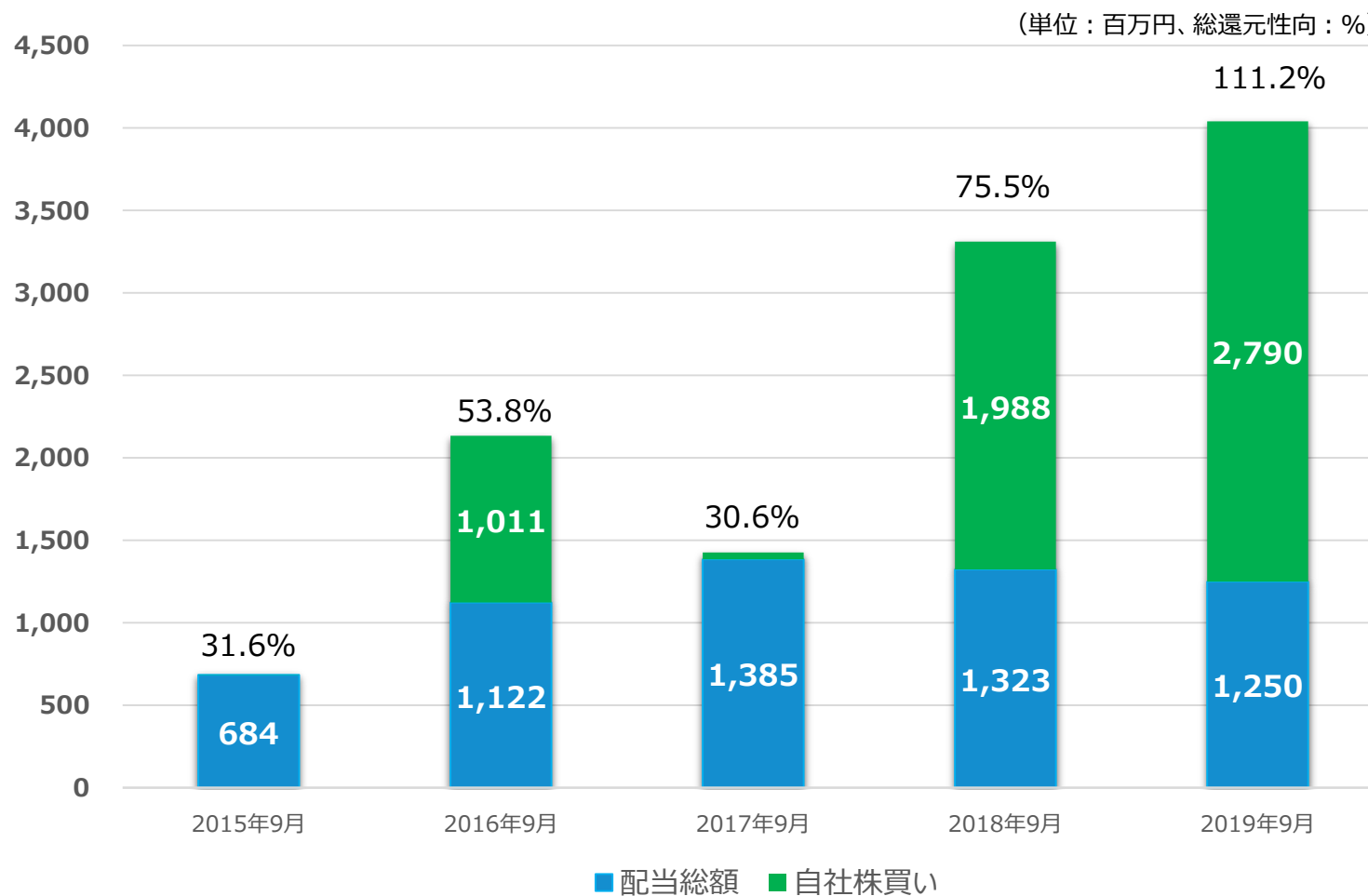
- 1. 健康産業に対するSolution Providerの地位確立
(一つのインフラとして)**
- 2. Global 大手と伍していく規模の確保、海外展開強化**
- 3. 自立・自律的な事業マネジメントの深化とグループ
マネジメントの推進**
- 4. EPSWAYの見える化と浸透（企業文化の創出）**
- 5. 次世代を担う経営人材の養成**

4 | 株主還元

配当金の推移

■ 期末配当 ■ 中間配当





ありがとうございました

お問い合わせは、EPSホールディングス(株)
財務会計部 IR担当までお願い致します
TEL : 03-5684-7873 / E-Mail : ir@eps.co.jp

EPSホールディングス株式会社

本資料中の業績予想および将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。

本資料を作成するにあたっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負うものではありませんので何卒ご了承ください。

■ 本資料に関するお問い合わせ
EPSホールディングス株式会社 財務会計部IR担当
TEL : 03-5684-7873
e-mail : ir@eps.co.jp



EPSホールディングス株式会社